参加無料

令和７年度

歯とお口の市民公開講座

歯と口腔の健康づくり

～子供の未来を守るため～

日時 令和７年 11 月 9 日 (日)
10 時～12 時

場所 天理駅南団体待合所

先着１００名様にお楽しみグッズプレゼント

特別講演

『“おかえり”が奇跡になる前に ～食べる力が命と未来を守る～』

講師　堀尾 麻衣 先生（THDC 合同会社 代表　口腔総合カウンセラー）

朝、「いってらっしゃい」と送り出した子どもを、夕方「おかえり」と迎える。その親としての何気ないやりとりは、ほんとうは奇跡の連続です。
2023 年データによると、日本では 0～14 歳 215人もの命が“不慮の事故”で命を失いました。
その中には、まだ歩くことも話すこともできない 0 歳児も含まれています。
0 歳児だけでも過去 5 年間で 330人が事故で死亡し、その多くはベッド内や誤嚥での窒息でした。
（直近 5 年間で 0 歳の窒息死 119 件、うち大半がベッド内）
この数字は、赤ちゃんだから起こる“特別な出来事”ではありません。
ほんの少し正しい「食べる技術」や「呼吸の正しさ」が欠けただけで、ごく普通の毎日が一瞬で消えてしまうのです。
さらに、呼吸・咀嚼・嚥下の未発達は命だけでなくこどもたちの未来にも影を落とします。
口呼吸が続く、よく噛まない、飲み込みが弱い
そんな小さなサインが、実は学習の集中力や記憶力、姿勢の保持、運動能力、感情の安定にまで影響しているのです。
「なんだか落ち着きがない」「覚えるのが苦手」「姿勢が悪い」
その原因の一端が、実は“お口の機能の質”にあることも少なくありません。
お母さんたちのご相談の多くは、「できているか」ですが、大切なのは、「正しくできているか」です。
そして、その“正しさ”を、多くの親がまだ知りません。

今回の講演では、

- 「おかえり」が奇跡のままになってしまうかもしれない理由
- 命と未来を同時に守る“食べる力”の本当の意味
- 家庭で今日からできる、正しい呼吸・咀嚼・嚥下の育て方

を、保育と歯科の両方の現場から、エピソードを踏まえてお伝えします。

「うちの子は大丈夫」―― そう思っている今こそ、知ってほしい。
食べる力は、生きる力であり、未来を切り拓く力です。

イベント問い合わせ：天理市役所　健康・こども家庭局　健康推進課（0743）63-9276
主催：山辺・天理歯科医師会